

令和6年11月1日

10月から11月へあっという間に突入した感じがします。

先週末に大リーグのワールドシリーズが始まり、その直後に衆議院総選挙があり、この1週間はその2つの話題でネット上でも大半を占めていました。気が付いたら、ハロウインの事をすっかり忘れていました。

ちなみに、ハロウインって「ハロウイン(前アクセント)」と言ってますが、この前に東京へ出張した際、テレビのニュース番組でアナウンサーが「ハロウィーン(後ろアクセント)」と言って、なんだか関西人のような言い方だなあと思って、2通りの言い方があるのかなと調べてみたら、英語の正しい読み方は「ハロウィーン(後ろアクセント)」だったんですね。まあどちらでもいいんでしょうけれども。

その話は置いて、ハロウインという予定、これは「展望記憶」というらしく、過去にやったことの記憶に対して、これからやろうとすることの記憶だそうで、この展望記憶、忘れやすいんですね。よっぽど楽しみにしていることとか、すごく嫌なことが予定されていけばまずは忘れないんですけど、どうでもいいといっちはなんですごく普通の予定だとやはり忘れやすいです。

その忘れやすい展望記憶をフォローするために、我々はスケジュール帳に書き込んだり、カレンダーに書き入れたり、リマインダーを利用したりして管理しているんですね。記憶力に変に自信がある人はそういうのを使わないんでしょうけど、それだと抜けやすい。でも、自分は記憶力があまりないと自覚している人はあえてそういうものを使うのでちゃんと管理できていて抜けにくい。

これは入力作業、受注入力のようなものでも同様のことが言えます。自分が入力を完璧にできると自信を持っている人は、入力した後にあまり確認をしないので、間違っても気づかない。でも、自分が入力を間違えやすいと自覚している人は、入力した後に必ず確認して間違いを訂正するので、結果的にほとんどミスはありません。

自信を持つことは大事なんですけど、過信はよくないです。

順調な時ほど過信せず、不調な時ほど自信を持って前向きに。そんな姿勢で臨みたいと思います。

以上

代表取締役社長 角高哲治